

プライベートバンカー(PB)資格

継続教育ガイド

【2025年4月】

今後の改訂については、当協会ウェブサイトに掲載しますので、必要に応じウェブサイトをご覧ください。 なお、受験料等は先行き予告なく変更することがあります。



本著作物の著作権は、公益社団 なく印刷、複写、転載、磁気もしく 禁じます。	法人 日本証券アナリスト協 は光記録媒体への入力等、	会に属します。本著作権 その他方法の如何を問れ	の全部または一部を、許可 oず、これを複製することを
	継続教育ガイドについ PB教育: E-mail:pb@sa	担当	

プライベートバンカー(PB)継続教育ガイド

【 目 次 】

1.	継続教育の重要性1~2
2. 7	継続教育プログラムの概要3~4
(1)	継続教育プログラムの内容と特徴3
(2)	セミナー等の特徴と狙い3
(3)	要旨と動画配信4
(4)	職業倫理 Web テスト4
3. 3	資格更新制度と資格再認定制度 $5{\sim}6$
(1)	資格更新制度5
(2)	資格更新に当っての留意点5
(3)	PB 資格再認定制度5
4 4	沙は松大ピードニ)ので神井口しで無上とが
	継続教育プログラムの受講費用と受講方法等
(1)	
(2)	
(3)	資格更新制度継続学習料「PB 継チケ」ご利用のお勧め8
(4)	継続教育のメニューと認められるポイント数および受講料等9
(参	考資料)
	プライベートバンキング基礎知識体系 (PB CKB)10

1. 継続教育の重要性

(1) 資格取得と継続教育

プライベートバンキングに携わる者にとって、欠かせないのはまずは自ら学習することを経ての資格の取得、そしてこれに続く継続学習です。

プライベートバンカー (PB) の関わる世界では、多種多様なニーズがあり、それらの多くが短時日の間に変化し、必要とする知識、ノウハウも変化します。

当協会ではこうした状況に対応するとともに PB 資格保有者の信認を維持するため、継続教育のプログラムを体系的に整備し、あわせて 2 年ごとの資格更新制度を導入しています。

この継続教育ガイドは、PB 資格 (PB コーディネーター、プライマリーPB、シニア PB) 保有者に求められる、こうした継続教育プログラムと資格更新制度について解説しています。

本プログラムにおける継続教育の役割・特徴は以下のとおりです。

(2) 本プログラムの継続教育

PB 資格試験に合格しても、それは各々の資格に求められる最低限の基礎知識を取得したに過ぎません。PB の世界は、学習範囲が多様かつ広大、顧客層のニーズも多種多様、法令をはじめとする規制や取引慣行ないし取引手法も複雑多彩、しかも日々変化が生じます。これらを遅れることなくフォローし、PB としての技能を高めていくことが必要不可欠です。

当協会のPB教育プログラムにおいては、継続学習が資格取得と並び二本の柱の一つであり、学習対象となる分野のみならずツールという点でも、類例のない多様かつ充実した継続学習の体制が整備されています。

最大の特徴は、協会自らが PB に必要と考えるテーマや事項を幅広く取り上げ、かつその媒体もセミナーやスクール、ウェブサイトを活用したこれらの要旨や動画の閲覧など幅広い方法で提供していることです。このように協会自らが体系だった継続教育プログラムを用意し、PB 資格保有者の知識と技能を高めていく方式は、PB 資格独自のものです。

内容、方法両面での充実した体制により、多忙な方や地方在住の方も学習しやすくなっており、上位 ランクへのステップアップにも効率良くつながっていきます。さらに金融機関が自らの職員に行う研 修の補完としての機能も備えていると評価できます。

こうした資格ごとに自ら学習することを義務付けることによって、PBとしての成長を促し、その信認を確保するための仕組みが資格更新制度です。

この PB 教育プログラムは我が国初めての試みであり、協会としては、内外の環境も時代も変わっていく中で、今後プログラムの一層の充実に努めて参ります。PB 資格を取得した皆さんが自らを高めつ

つ、この継続教育プログラムで得たものを実践の場で最大限に生かし、顧客のニーズに的確に対応し満 足度を高め、ひいては日本経済の活性化に貢献していかれるよう、願っています。



2. 継続教育プログラムの概要

(1) 継続教育プログラムの内容と特徴

PB 継続教育プログラムの内容は、その性格上多種多様なものになります。教育内容は、PB 基礎知識体系 (PB CKB) (10 ページ (参考資料) 参照) を踏まえたうえで、幅広い実務対応を中心に入門編から上級者向けまで 3 ランクの PB 資格に対応したレベルのものを用意しています。

PB 資格保有者は、自らの目的に合わせて受講するセミナー等を選択し、PB としての知識を深めてください。

- ① PB 継続教育プログラムは、2 年ごとの資格更新を前提とした上で、PB CKB すべての科目をカバーできる体系になっています。
- ② 自習用の教材として、セミナー等の動画や要旨を提供しています。
- ③ PB 固有分野のメニューが継続教育ポイント取得対象となります。CMA(当協会検定会員)関連のメニューは全て継続教育ポイント対象外となりましたのでご注意ください。

(2) セミナー等の特徴と狙い



PB 関連セミナーには、PB セミナー、PB 補完セミナー、PB スクール、シニア PB サロンがあり、それぞれには以下のような特徴があります。今年度の PB 関連セミナーの開催予定、過去の PB 関連セミナーについては、協会ウェブサイトの PB セミナーをご参照ください。

PB セミナー | 日本証券アナリスト協会 (saa.or.jp)

① PBセミナー

- イ. 現役の PB として活躍中の実務家を講師に迎え、事業承継や相続対策など具体的なケーススタ ディをもとに講義とグループ・ディスカッションを通じて学びます。また、顧客へのプレゼン テーションをロールプレーで発表する等、極めて実戦的なセミナーです。
- ロ. PB 資格上級者(プライマリーPB、シニア PB)向けの高度な内容となっており、このセミナーに参加すると、総合提案書の作成方法など PB に必要な知識を一通り身につけることができるほか、PB としてのスキルアップに役立ちます。

② PB 補完セミナー (動画配信)

- イ. PB 補完セミナーは、上記の PB セミナーを補完する観点から、特定のテーマないし分野ごとに 踏み込んだ内容で定例開催しています。その内容は、資産の運用、資産の承継・管理、事業の 承継に関する各分野から満遍なく取り上げており、実務に直結した内容となっています。
- ロ. PB 資格 (PB コーディネーター、プライマリーPB、シニア PB) 保有者向けに、約60分の講演形式で行います。1年間で PB CKB を網羅する形をとっており、所要の知識が体系的に学べるよう工夫しています。

③ PB スクール (動画配信)

- イ. PB 資格保有者が各段階で一つ上のスキルセット、資格を取得できるよう、レベルアップの機会を提供します。また、上位資格保有者の知識確認にも最適な内容となっています。
- ロ. PB 資格 (PB コーディネーター、プライマリーPB、シニア PB) 保有者向けに、総合提案書 の作成要領や PB 業務を進める上での重要テーマを、集中的に学びます。

④シニア PB サロン (継続教育ポイント対象外)

プライベートバンカーとして最高峰のスキルを持つ資格者だけを対象として、知識のレベルアップを図るとともにリレーションの構築を目的として開催しています。

(3) 要旨と動画配信



PB 補完セミナー、PB スクールについては、要旨や動画の配信を行っています。協会ウェブサイトからダウンロードできますので、是非、活用してください。

(4) 職業倫理 Web テスト

職業倫理は必須科目です。 Web テストに合格することにより職業倫理の所要ポイントを取得できます。

合否はその場で判明しますが、ポイントの反映には数日要するため、資格の有効期限が迫っている場合には、職業倫理科目の対象セミナーの動画、要旨で学習することを検討してください。 受験方法は7ページを参照してください。



3. 資格更新制度と資格再認定制度

(1) 資格更新制度

- ① 継続教育・学習の重要性を担保する仕組みが資格更新制度です。資格更新に当っては、PB 資格 取得者は2年の間に所要の継続学習を行い、以下に定める「継続教育ポイント」を取得すること が求められます。また、その際、職業倫理科目を1ポイント以上取得することが必須条件です
- ② これらを満たさない場合には、自動的に資格を喪失します。

各資格の更新に必要なポイント(うち1ポイント以上は職業倫理科目が必須です)

PB 資格	資格更新ポイント
PB コーディネーター	1 ポイント
プライマリーPB	15 ポイント
シニア PB	15 ポイント

*2022 年 12 月に PB コーディネーター資格試験は終了していますが、それまでに取得した PB コーディネーター資格は上記の資格更新ポイントを取得することで従来通り更新されます。

(2) 資格更新に当っての留意点

- ① 2 年の期限および継続教育ポイントの取得状況は、協会ウェブサイトの PB 専用ページから確認できます。 PB 固有メニューを履修すると、ポイント取得状況が PB 資格保有者の専用ページに自動的に反映されます。
- ② 期間途中で上級の資格を取得した場合は、上級の資格認定者として、改めて所定のポイントを取得する必要があります。上級資格に認定される前に取得した継続教育ポイントは無効になります。
- ③ 継続教育ポイントの取得状況については、資格の有効期限の 6 か月前、3 か月前、および 1 か月前に、協会から注意喚起のメールを送付します。
- ④ なお、受講料のほかに資格更新料が徴求されることはありません。

(3) PB 資格再認定制度

PB 資格を失効された方に対し、一定の要件をクリアすることにより PB 資格を再認定することとしました。 $(2020 \pm 10 \ \text{月} \ \text{1} \ \text{日より})$

PB 資格を失効したが、再認定を希望の方は、本制度をご利用ください。

<PB 資格再認定の流れ>

1. 再認定基準のクリア(継続教育ポイント取得)



2.	再認定申請書の提出
3.	審査
4.	事務手数料支払い
5.	PB 資格再認定

① 再認定基準のクリア (継続教育ポイント取得)

再認定申請時からさかのぼって一定期間内に、規定の継続教育ポイントを取得する。

資格失効から再認定申	再認定用継続教育ポイント	再認定に必要な継続教育ポイント	
請までの期間	の対象となる期間		
失効後2年以内	前資格有効期間	PBC : 2 ポイント	
	および資格失効後	PPB・SPB: 30 ポイント	
		(うち職業倫理1ポイント以上)	
失効後2年超	前資格有効期間	PBC : 3 ポイント	
4年以内	および資格失効後	PPB・SPB:45 ポイント	
		(うち職業倫理1ポイント以上)	
失効後 4 年超	認めない		

(注) 失効後2年以内なら失効前の資格有効期限から4年後、失効後2年超4年以内なら同6年後が再認定後の資格有効期限となります。システム上、再認定した際の有効期限表示は上記より2年少ないが、すでに継続要件を満たした状態で再認定するので、再認定後、最初の資格更新日には自動で更新されます。継続教育ポイントについては、PB固有のセミナー要旨、動画のみ付与対象とします。

https://www.saa.or.jp/pb/seminar/index.html

② 再認定申請書の提出

再認定申請書※を「日本証券アナリスト協会 (PB 教育企画部)」(メール: <u>pb@saa.or.jp)</u>宛に提出する。※再認定申請書(見本) は協会ウェブサイトに掲載。

https://www.saa.or.jp/pb/pdf/sainin shinsei.pdf

③ 審査

提出された再認定申請書を基に、日本証券アナリスト協会にて再認定基準をクリアしているか審査し、結果を連絡する。

④ 事務手数料支払い

資格再認定の連絡を受けた申請者は、事務手数料(3資格共通5,500円(税込み)、振込料申請者負担)を日本証券アナリスト協会宛、銀行振込みで支払う。

⑤ PB 資格再認定

入金確認後、日本証券アナリスト協会にて再認定処理を行う。

4. 継続教育プログラムの受講費用と受講方法等

(1) 継続教育プログラムの受講費用、所要継続教育ポイント数

- ①セミナー等継続教育プログラムの「受講費用および継続教育ポイント」については9ページ以降を参照してください。
 - イ. 受講内容に応じてポイントが計算され、資格ごとに資格更新に当っての所要ポイントが定められています。
 - ロ. 当面、PB 資格取得前の PB 試験受験者と PB 試験申込済者は PB セミナー、PB 補完セミナー、PB スクールについて、PB 資格取得者と同料金で受講することができます。両セミナーおよびスクールの動画、要旨も同様です。
 - ハ. 資格更新に当っては、全資格について職業倫理科目が1ポイント以上必要です。

(2) 継続教育プログラムの受講方法

①セミナー等の受講

- イ. 協会ウェブサイトより、ご自身のメールアドレスとパスワードを入力して、PB 専用ページに進んでください。
- ロ. PB 専用ページの「PB セミナー等申込」からセミナーを選択し、自身の属性を確認(住所変更等があれば訂正)、受講プログラム、支払方法を選択してください。
- ハ. 受講料の支払方法は、資格更新制度継続学習料「PB継チケ」での支払いか、コンビニ・ペイジー決済の2種類です。ただし、動画コンテンツについては、これに加えてクレジットカードでの決済も可能です。
 - ※コンビニ・ペイジー決済では手数料がかかります。
 - 一受講料は9ページを参照してください。
 - 一支払が簡単で割引の特典がある「PB 継チケ」を予め購入しておくことをお勧めします。 詳細は8ページをご覧ください。
- ニ. なお、会社や団体で人数を纏めて、PB スクールや動画セミナー等の受講希望がある場合は、協会までご相談ください。

②職業倫理 Web テストの受講

- イ. PB 専用ページの Web テスト申込をクリックし、Web テストの申込みを行います。入金完了後、PB 専用ページの「Web テスト閲覧」をクリックし、「購入 Web テスト一覧」から画面表示されている試験名をクリックしてください。
- ロ. 初めて受験する方は
 ◆初めて Web テストを実施される方 をクリックして、注意事項をよく読んでから、名前等を入力して Web テストを始めてください。
 - 一結果が不合格の場合は、「Web テスト申込」から再度申込みを行ってください。
 - 一操作方法等不明の場合は、以下にお問い合わせください。

PB 教育運営: E-mail: p-pb@saa.or.jp

- ハ. 合否はその場で判明しますが、ポイントは協会が手動で登録するため数日かかります。
- ニ. 受験料は1,100円、「PB継チケ」で1ユニットです。
- ホ. Web テストは毎年4月に新しいテストに更新されます。合格された場合は、同一テストの再受験は出来ませんのでご注意ください。

(3) 資格更新制度継続学習料「PB 継チケ」のご利用のお勧め

- ① 「PB 継チケ」は、PB 資格認定者による継続教育プログラムの支払いを簡単にし、割引の特典を受けられるようにするために導入したプリペイド型電子決済チケットです。
- ② 「PB 継チケ」は、ユニットと称する単位で管理されており、以下の2種類があります。

「PB継チケ」価格表

(注) 購入時は消費税非課税、利用時に消費税課税

ユニット数	購入代金 (注)	有効期間
9ユニット	9,000 円	4 年間
15 ユニット	15,000 円	4 年間

購入は、PB 専用ページの「資格更新・継続学習」の「「PB 継チケ」の支払い/確認」ボタンをクリックします。支払方法は、クレジットカード決済とコンビニ・ペイジー決済があります。 ※コンビニ・ペイジー決済では手数料がかかります。

- ③ 継続教育メニュー (PB 固有のメニュー) は、「PB 継チケ」での支払いが可能(セミナー等ごとに必要なユニット数が決まっています)です。例えば、PB 補完セミナー動画配信は 2 ユニット、PB 補完セミナー要旨は 1 ユニットで購入することができ、その他の支払方法 (クレジットカード、コンビニ・ペイジー決済等)に比べて割安で購入することができます。詳細は 9 ページをご覧ください。
- ④ 「PB 継チケ」の使用状況は協会のシステムにより管理され、PB 資格取得者は PB 専用ページで自らの使用状況を確認できます。
- ⑤ 「PB 継チケ」の使用に関する注意事項
 - - i) セミナー・講演会等に参加する
 - ii) 要旨を購入してダウンロードする
 - iii) 動画を購入して視聴する (動画は視聴しないと継続教育ポイントに反映されません) 等により継続教育ポイントが取得できます。
 - ロ. 「PB 継チケ」により、セミナー等を申込んだ後、セミナー等を欠席しても、支払済の PB 継チケの払い戻しはできません。

なお、欠席者には、後日送付するセミナーの資料を利用して自習して頂くことになります。 (継続教育ポイントは、セミナーを受講したものとして加算されます。)

- ハ. 「PB 継チケ」を使用し、セミナー・スクール・動画・要旨等を誤って申し込んだ場合も キャンセルできません。
- ニ.「PB 継チケ」で支払うことができるのは、PB 固有分野のメニュー専用であり、CMA 関係のメニューや受験料等に充てることはできません。
- ホ.「PB 継チケ」の購入は、商品券と同じ扱いになるので消費税は非課税です。消費税が改定 になっても上記値段で購入できます。ただし、消費税改定後、受講に要するユニット数が 変更になる場合がありますのでご注意ください。
- へ.「PB 継チケ」の領収書は、マイページから申請できます。 資格更新、継続学習>資格更新制度継続学習(「PB 継チケ」)の受領証明書発行

(4) 継続教育のメニューと認められるポイント数および受講料等

PB 関連セミナー等のプログラム	認められる ポイント	受講料等 (円)	PB 継チケ (ユニット)
〈セミナー〉			
PBセミナー	15	16,500	15
PB スクール	9	9,900	9
〈動画〉			
PB 補完セミナー動画	2	2,200	2
PB スクール動画(1 セッション)	2	2,200	2
〈要旨〉			
PB 補完セミナー要旨	1	1,100	1
PB スクール要旨(1 セッション)	L	1,100	1
〈Web テスト〉			
職業倫理 Web テスト	1	1,100	1

- ○補完セミナー、スクールについては、収録動画の配信を実施しております。
- ○今後の PB 関連セミナーの予定、過去の PB 関連セミナーについては、以下をご参照ください。 協会ウェブサイト>PB 資格>PB セミナー

https://www.saa.or.jp/pb/seminar/index.html

プライベートバンキング基礎知識体系 (PB CKB)

PB CKB (Private Banking Common Knowledge Base) は、わが国のプライベートバンカー (PB 業務に携わる金融機関勤務者あるいは独立アドバイザー等)が、個人顧客に様々な良質のサービスを提供する上で必要とされる知識体系を、網羅的に示すことによって、所要の標準的な知識の装備を目指すものです。

	科目名	テーマ
序		プライベートバンカーとは
1	顧客とのかかわりと職業倫理・行為基準	顧客とのかかわり
		課題解決に向けた手順・手法
		ファミリーガバナンス
		ファミリーオフィス
		職業倫理・行為基準
2	資産の運用	財産状況の把握
		保有資産等の現状把握
		キャッシュフローの把握
		リスクマネジメント
		資産の運用
		金融資産の運用
		不動産の運用
3	資産の承継・管理	相続の法務
		相続の概要
		遺産分割協議
		遺言
		相続の税務
		相続税の概要
		贈与税の概要
		納税資金対策
		対策立案の手順
		信託を活用した資産の管理と成年後見制度
		信託の概要
		信託の税務と活用事例
		民事信託
		成年後見等
4	事業の承継	事業価値源泉の把握と企業価値評価
		事業価値源泉の把握
		企業価値評価
		事業の承継(親族内)
		事業承継の方法と検討手順
		自社株式評価の体系
		自己株式の取得・処分
		持株会社スキーム
		その他の主要な対策
		事業の承継(親族外)
		MBOへの対応
		M&Aへの対応

プライベートバンカー(PB)資格 継続教育ガイド

編集兼発行

公益社団法人 日本証券アナリスト協会 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町2-1 東京証券取引所ビル5階